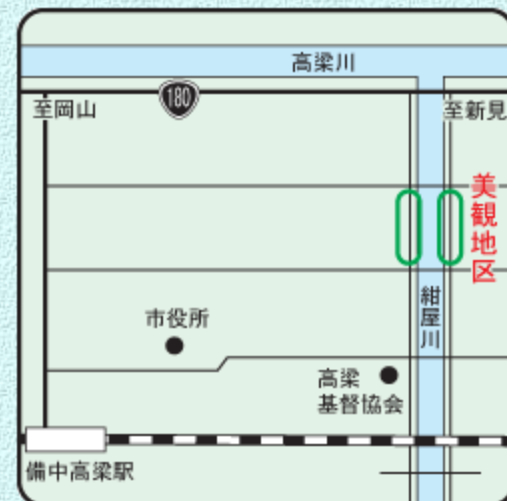


高梁市は、秋庭三郎重信が市の中央にそびえる臥牛山上に城を築いて以来、城下町として栄えてきた。

その名残をとどめている紺屋川の川沿いにはヤナギ並木とその昔高瀬舟で栄えた商家があり、少し歩くとサクラ並木、そしてひときわ目立つ高梁基督教教会の白亜の洋風建物、さらには石火矢町ふるさと村（武家屋敷）といった歴史に培われた街並みが、豊かな自然の中で静かに息づいている。

この街並みを生かすため、昭和53年度から59年度にかけて、紺屋川の河床を石張りにするとともに、川沿いにショウブ、カキツバタを植え、こうして整備された美しい景観と、そこに生きている人々の素朴な心や笑顔が相まって、訪れた人の心をなごませている。

毎年9月の第2日曜日には紺屋川沿いの道路を利用して「ふれあい広場」も開催され、子供から老人まで幅広いコミュニティ形成の場を提供している。



- | | |
|------|--|
| 所在地 | 岡山県高梁市下町、本町、鍛冶町、新町、頼久寺町、向町、中之町 |
| 諸元 | 伊賀谷川砂防：
延長325m、雑石張
1,038m ²
幼稚園土塀：
高さ1.2m、延長90m、土
15件、土塀23件、門4件
花壇：
延長205m、幅0.5m、擬木
48m |
| 材料 | 雑石 |
| イベント | 郷土農産物の即売、郷土芸能の発展等 |